

++A&T

ブラブラット
++A&T 05 ++A&T -SCARTS ART & TECHNOLOGY Project - 05
Kuwakubo Ryota x SCARTS x Junior High and High School Students in Sapporo
クワクボリョウタ x SCARTS x 札幌の中高生たち

ワークショップ成果展

キヨウブドウ体 / SYN 体

Workshop Results Exhibition Co-body / syn-body



©aketarashrome

2021年9月4日(土) → 10月10日(日)

入場無料 11:00~19:00 ※9月8日(水)、9月23日(木)~28日(火)は休館

Sapporo Cultural Arts Community Center SCARTS / SCARTS MALL C (Sapporo Community Plaza 2F)

札幌文化芸術交流センター SCARTS
SCARTSモールC (札幌市民交流プラザ 2F)



主催:札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)、札幌市
後援:札幌市教育委員会 助成:令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
Advertising Design by Kikuchi Kazuhiro (backyard)

札幌文化芸術交流センター
SCARTS
SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER



With Others at a Long Distance

リモート時代のテクノロジーに向き合う4人のアーティストによる展覧会

クワクボリョウタ Kuwakubo Ryota
やんツー yang02
大橋鉄郎 Onashi Tetsuro
岡碧幸 Oka Miyyuki

2021年 札幌文化芸術交流センター
9月4日(土) → 10月10日(日) SCARTS
入場無料
11:00-19:00
休館日:9月8日(水)

September 4 - October 10, 2021 *September 8 closed Entrance free



主催:札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)、札幌市 後援:札幌市教育委員会
協力:渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所) 助成:令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
Advertising Design by Kikuchi Kazuhiro (backyard)

札幌文化芸術交流センター
SCARTS
SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER

東京

遠い誰か、ことのあるか

私たちは、ごく当たり前テクノロジーを使い、物理的に離れた相手や膨大な情報に効率よくアクセスできる日常を享受しています。しかし、人との直接的な接触を避け、「会わずに会う」ことがかつてなく求められるようになった今、生身の身体と身体が共にあること、あらゆる感覚器官を使って対象を実感することが、効率や利便性では測れない意味を持っているということに、誰もが再び気づかされているのではないのでしょうか。

本展では、テクノロジーを批評的に扱うアーティストたちの作品を通して、非生命も含んださまざまな「他者」との関わりが生起する場をつくり出します。時に摩擦や抵抗も起こり得る他者との複雑な関係を捉えなおし、他者と共に生きる意味について考えます。

自分以外の主体との協働の可能性をメディア技術を用いて探ろうとするクワクポリョウタ、アイロニカルな装置を通して、今日のテクノロジーの意味を問うやんツー、紙製の立体を通して私たちの表層的な情報の摂取に疑問を投げかける大橋鉄郎、場の環境を制御するシステムにより、人間と自然、生命と非生命などの関係性を探る岡碧幸、札幌在住の2名を含む4名のアーティストが、新作を発表します。

We take for granted our ability to use technology as an everyday tool to quickly access physically remote people and tons of information. On the other hand, now that there is an unprecedented need to avoid direct contact with others and to "meet people without meeting", we are reminded again that there are values to physical bodies being together and using all our senses to actually interact with one another that we cannot measure in terms of efficiency or convenience.

Through the critique of technology present in the works for this exhibition, we create a space for interacting with various "Others", including nonliving objects. We also re-consider the conflicts and acts of resistance in our complex relationships with others, and contemplate the meaning of living together with them.

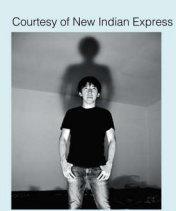
Four artists, two of whom are based in Sapporo, will present their new works. Kuwakubo Ryota explores the possibility of collaboration with other subjects other than oneself using media technology, Yang02 questions the meaning of technology today through ironical devices, Ohashi Tetsuro creates paper-made 3D objects to interrogate our superficial intake of information, and Oka Miyuki, through a system that controls spatial environment, examines the relationships between humans and nature, living and nonliving things.

SCARTSコート / SCARTSスタジオ
(札幌市民交流プラザ 1-2F)

展覧会図録「遠い誰か、ことのあるか」
発売：2021年9月4日(土)から
インターネットで予約販売開始
販売価格：1,500円(税別) / A5判、全64頁予定
発行所：中西出版株式会社



クワクポリョウタ
Kuwakubo Ryota



Courtesy of New Indian Express



撮影：大森大祐

やんツー
Yang02



(LOST#16) 2017年制作 撮影：小牧寿里
提供：札幌国際芸術祭実行委員会



《鑑賞から逃れる》2019年制作 撮影：小幡伸也

大橋鉄郎
Ohashi Tetsuro



1994年札幌市生まれ。札幌市在住。札幌大谷大学芸術学部美術学科卒業。東京芸術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻中退。出来事や物事、知識や事件の表層だけを受け取るような、現在の情報の受け取り方に着目し活動。表層のみを強調した中身の無い立体など、ものの本質を骨抜きにすることで相対的に本質の在り処がどこにあるのかを問いかける。近年は、写真に写っている物を紙を用いて立体化する作品《3Dモデル》や、ピースをしている女性を描く《ピースシリーズ》を制作。



《いえい、頑張っていこうよ。》2019年制作

岡碧幸
Oka Miyuki



《ikitoshi》2019年制作

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開場時間や入場時の受付方法等が変更となる場合があります。来館前に最新情報をご確認ください。
※ご来場の際にはマスク着用など、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。また、お客様ご自身におかれましても感染予防対策をお願いいたします。

As part of our efforts to prevent the spread of COVID-19 infection, there may be changes to details such as exhibition hours and admission methods. Please confirm the latest information before visiting. We request that all visitors wear a facemask to prevent the spread of COVID-19.

9/4 Sat 関連 イベント

SCARTS × SIAFラボ
Art Engineering School
Backstage Pass to SCARTS / OFFLINE
19:00~20:00
作品の裏側 / 展覧会のバックステージの見学ツアーを実施します。
共催：札幌国際芸術祭実行委員会



9/5 Sun アーティストトーク
SCARTSモールAB(1F)
14:00~15:00 クワクポリョウタ × 岡碧幸
15:30~16:30 やんツー × 大橋鉄郎



9/11 Sat アーティスト × 研究者トーク
SCARTSモールAB(1F)
17:00~18:00
クワクポリョウタ × 渡邊淳司 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所 人間情報研究部 上席特別研究員)

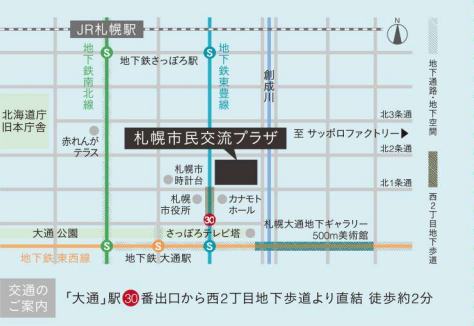


10/2 Sat SCARTSアートコミュニケーター「ひらく」による鑑賞サポート
①11:00~12:00 ②13:30~14:30
SCARTSコート、SCARTSスタジオ(1-2F)
アートコミュニケーターと共に作品を見て気づいたことや感じたことを言葉にしなが鑑賞を楽しむプログラムです。

10/3 Sun キュレーターによるギャラリートーク「遠い誰か、ことのあるか」
++A&T 05「キョウドウ体 / syn体」
①11:00~11:45 ②16:00~16:45
集合場所：SCARTSコート前(1F)
本展の担当キュレーターが展示会場をめぐるながら作品についてお話しします。

会期中の土・日・祝日

SCARTSアートコミュニケーター「ひらく」× SIAF部の
展覧会ガイド 協力：札幌国際芸術祭実行委員会
会期中の土・日・祝日(予定)、「ひらく」とSIAF部(札幌国際芸術祭)のメンバーが会場で展覧会の見どころをガイドします。



交通のご案内 「大通」駅 3番出口から西2丁目地下歩道より直結 徒歩約2分

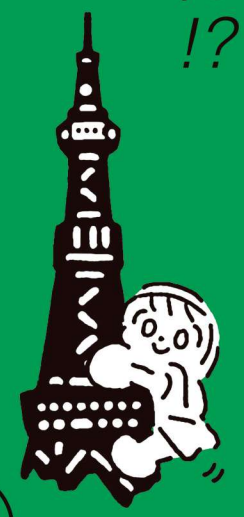
※すべて入場無料
9/4以外予約不要(当日先着)
詳細は随時ウェブやSNSでお知らせします。



syn体の全貌が明らかに!?



++A&T(ブラブラット)第5弾では、クワクポリョウタ氏を講師に迎え、「リモート時代の存在感」をテーマに、参加者がチームに分かれて共同/協働し、ロボットアームを動かすワークショップを7月に行いました。
この成果展では、各チームがワークショップで生み出した「syn体」の全貌を明らかにすると同時に、それぞれの「syn体」が巨大化し、札幌の街に降臨する光景を、AR(拡張現実)によって可視化します。



++A&Tは?
++A&T SCARTS ART & TECHNOLOGY Project (ブラブラット)は、アーティストや研究者、SCARTSそしてワークショップに参加する札幌の中学生・高校生と共に、創作する「場」をつくるプロジェクトです。毎回「テクノロジー」に関わるテーマを設定し、ワークショップを行い、その成果として展覧会を開催します。

2021年9月4日(土) → 10月10日(日)



「遠い誰か、ことのあるか」
特設ウェブページはこちらから。

https://www.sapporo-community-plaza.jp/event_withothers-at-alongdistance.html

お問い合わせ
札幌文化芸術交流センター SCARTS
札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ1-2階 TEL 011-271-1955(平日9:00~17:00)
Contact for Inquiries / Sapporo Cultural Arts Community Center SCARTS
Sapporo Community Plaza 1-2F, Kita 1 Nishi 1, Chuo-ku, Sapporo

SCARTSモールC
(札幌市民交流プラザ 2F)